

日本政府は核兵器禁止条約に署名・批准を

声をあげよう！高校生署名推進ニュース

2023年5月9日号 高校生平和ゼミナール全国連絡センター tokyo-heisemi@peace.nifty.jp

G7広島サミットを前に一斉署名行動 参加国首脳に核兵器廃絶をアピール

埼玉・東京・愛知・広島・沖縄の中、高校生 5.7 署名と交流会



雨のなかの原宿神宮橋で



所沢駅で



沖縄県庁前で

G7広島サミットを前に5月7日(日)「核兵器禁止条約に署名・批准を」高校生署名が雨にもかかわらず各地で行われた。

午後3時からの高校生署名学習交流会で各地の署名活動を報告。埼玉は雨のなか所沢駅で行い「署名の数は少なかったけど若い人の中でも平和への関心はある」と報告。東京は中・高校生と学生、世話人15人が原宿の神宮橋で署名。「98筆集まった。条約のことはまだまだ知られていない。身近な人に声をかけたい」と発言。愛知は4人で50筆集めたと報告。

広島は雨のために中止となったが、5月3日の憲法集会で130筆集めたと報告があった。沖縄からは「3月30日の共同署名行動で325筆、その後の街頭署名や市民集会で187筆集めた」と報告(沖縄は翌日の8日に県庁前で署名活動を行い、32筆集めた)。

ミニ学習会では、広島が「G7広島サミットへの被爆者の思い」を報告、東京は「横田基地はいま」、埼玉は「埼玉の軍事基地」について報告、沖縄からは「那覇軍港の浦添西海岸移設問題と南西諸島の軍事基地化」について報告があった。その後、「平和教材からはだしのゲンが削除されるのはおかしい」「基地問題を語るのがタブーになっているような気がしていたが、東京でも埼玉でも基地問題を学んでいてうれしい」「オスプレイの墜落事故を不時着と報道する本土のマスコミはおかしい」などの意見が出された。

最後にG7参加国に「①被爆体験を聞き、広島平和記念資料館を見学して被爆の実相を確認し、各国で被爆の実相を広く紹介してください。②NPT条約第6条にある核兵器保有国の『核軍縮義務』の誠実な実行に取り組んでください。③「核兵器禁止条約」第2回締約国会議にオブザーバー参加するとともに、早期にこの条約に参加し、核兵器禁止・廃絶に向けて取り組んでください。④ロシアにウクライナからの撤退を求め、平和解決のために外交努力をつくしてください。また、台湾有事を引き起こさせないために、武力に頼らず対話による平和構築の努力をしてください」というアピールを確認し、各国大使館に郵送。この日の署名行動と交流会には52名が参加。

映画「声をあげる高校生たち」のナレーションを担当した俳優の齊藤とも子さんが東京の署名活動から参加し「被爆者に支えられ、いま高校生に励まされている。私もできることをします」と挨拶した。



名古屋市で

8月8日(火)長崎市(活水高校)で第50回全国高校生平和集会

2023年5月7日

G7 広島サミットに参加する各国首脳の皆様に

核兵器禁止・廃絶に向けた明確な前進を求める高校生アピール

高校生平和ゼミナールは、核兵器のない平和な世界を求める日本各地の高校生たちが自主的につくっている団体です。1970年代の結成以来、半世紀に及ぶ歴史があります。

被爆地広島で G7 サミットが開かれるにあたり、各地の高校生平和ゼミナールが共同してアピールを採択し、参加する首脳に要請することになりました。未来を担う高校生の声を真剣に受け止めてくださるよう要請します。

私たち高校生平和ゼミナールは日本政府に対して核兵器禁止条約への署名・批准を求める高校生署名に取り組み、全国で集まった 1 万 3642 筆の署名を 2022 年 8 月 19 日に外務省に提出しました。

また、ロシアによるウクライナ侵攻という事態をうけて、プーチン大統領に戦争をやめることを要請する高校生署名に取り組み、集まった署名を 2022 年 3 月 21 日にロシア大使館に提出し、その報告のためにウクライナ大使館を訪問しました。

私たちはその後も継続してこれらの署名に取り組んでいます。

私たち高校生平和ゼミナールは「被爆者の話を直接聞ける最後の世代」として、積極的に被爆者の体験を聞く機会をつくってきました。核兵器の悲惨さは、実際に体験していない私たちが計り知ることができないものです。私たちは、被爆者の体験を継承するとともに、今なお苦しみながら、核兵器が地球上から無くなることを求める被爆者のかたの願いを必ず実現したいと考えます。

私たち高校生の力は限られていますが、G7 サミットに参加している首脳が決断すれば核兵器を廃絶することは可能です。にもかかわらず、世界では 80 年近く、核兵器を廃絶することができていません。また、日本政府の姿勢も被爆者の願いに応えるものではありません。

核兵器におびえて成り立つ平和は、本当の平和とは言えません。広島で開かれる今回の G7 サミットでこそ、この地で過去に起こった凄惨な出来事を脳裏に浮かべながら、核兵器廃絶に向かって一歩踏み込んだ結論を出してもらいたいと考えます。

以上の立場から、私たちは G7 サミットに参加する首脳に下記のことを要請します。

世界には G7 の国々とは立場も考え方も違う国がたくさんあります。国によって多種多様な考え方がある中で、違いばかりを見つけるのではなく、共通点を見つけ、同じ目的である核兵器の廃絶のために協力できる方針を出してください。

要請項目

1. 被爆者の被爆体験を聞くとともに「広島平和記念資料館」を十分な時間をとって見学し、被爆の実相を確認してください。また、G7 サミット後、各国にもどり、被爆の実相を広く紹介してください。
2. NPT 条約第 6 条にある核兵器保有国の「核軍縮義務」の誠実な実行に取り組んでください。
3. 今年 11 月に行われる「核兵器禁止条約」第 2 回締約国会議にオブザーバー参加するとともに、早期にこの条約に参加し、核兵器禁止・廃絶に向けて取り組んでください。
4. ロシアにウクライナからの撤退を求め、平和解決のために外交努力をつくしてください。また、台湾有事を引き起こさせないために、武力に頼らず対話による平和構築の努力をしてください。

埼玉高校生平和サークル Peace Wing

東京高校生平和ゼミナール

エバーグリーン静岡

愛知県高校生平和ゼミナール

広島高校生平和ゼミナール

沖縄高校生平和ゼミナール